

4-1 SSH東京合宿

実施日時：平成22年度8月2日(月)～8月3日(火)

目的

- ① 日本科学未来館と国立科学博物館のいずれかを選択し、グループごとに事前に下調べをして、テーマを決めて見学し、展示に触れて見聞を広める。
- ② 「パシフィコ横浜での全国SSH発表会」に参加し、ノーベル賞受賞科学者の講演を聴き、また、他の高校生の口頭発表ならびにポスター発表を見学する。
- ③ 見学の後は必ず、意見交換を行い、他人の考えや興味・関心にふれ、自分の考えや興味・関心を再確認する。共同研究・協力研究の可能性を探る仲間・組織作りも大切である。

a 日本科学未来館または国立科学博物館の見学

・日本科学未来館

実施日時：平成22年8月2日(月) 13:25～16:00

場 所：東京都江東区青海2-41 TEL 03-3570-9151

参 加 者：SSコース1年生 25名

・国立科学博物館

実施日時：平成22年8月2日(月) 12:45～16:20

場 所：東京都台東区上野公園7-20 TEL 03-5777-8600

参 加 者：SSコース1年生 3名 2年生18名

事前指導：7月16日(金) 13:00～15:00

内容 ①合宿の目的の説明

②グループ分けと事前学習レポート、見学ルート作りの説明

事後指導：実施当日20:00～21:30

内容 ①グループ内での発表・意見交換

②グループごとの発表

生徒の感想

＜日本科学未来館見学＞

- ・研究者の講義パネルの中で教授が「宇宙の果てとは人間の認識の果てである」と言っていたのがすごく印象に残り、おもしろかったです。人間原理の考えが取り入れられているのはとても興味深いと思いました。
- ・地球環境の展示でノコギリの模型に触れると、画面に映っていた動物の横で人間が木の伐採をはじめ、あっという間に地球は砂の星になってしまった。そのとき私は、ノコギリにうかつに触れたことをどこことなく後悔したのを覚えている。おそらく人間は私と同じようにのこぎりやチェーンソーに手を出したのだろう。このままでは人間が私と同じように後悔するのは目に見えている。私たちは森林保全を急ぐ必要があるのだと思う。

- ・結局、どのようなロボットを開発し、それが活躍しようとも、それは人間のアイデンティティからのみ生まれるのだと再認識できた。それは日々の積み重ねの上にはできるのだから、好奇心を武器に毎日探求しなければならないと改めて思った。
- ・鼻から頭のとっぺんまでの人間の輪切りの標本を見ました。すごくリアルで隣に解説が置いてあってわかりやすかったです。私は人体にとっても興味があるので、すごく興奮しました。

＜ 国立科学博物館見学 ＞

- ・カミオカンデの展示について、以前小柴先生の講演を聴いたことがあり、なんとなくイメージがあったのだが、今回模型があって実感がわいた。
- ・同素体の展示や分子の組み合わせをモニターで確認できるものなどがあり、わくわくしていました。コペルニシウムも周期表には追加されていましたが、説明モニターにはなかったので説明が少なく、そこが残念でした。また詳しく分かってから、自分で調べたりしたいです。
- ・クモと一言に言っても、すごく変わった姿のものがあつたので、大阪に帰ってからも、網の張り方などに注目してみたい。
- ・ついていけない部分が多くあつたし、自分がもともと興味を持っている分野ばかりではなかったけれど、他の分野も見られたわけだし、すべての科学の研究の共通した点も見られた気がして今後の研究意欲がわき、よかったと思う。
- ・昔の動物の骨が展示してありました。骨は現在の動物に似ていながらも、全体的に大きくキバが発達したものが多かったです。そのキバの使い方やなぜ発達しているのかなど知りたくなりました。
- ・展示物が多く、見て回っていて飽きることがなかった。広範囲の分野について学ぶことが出来た。『Newton』などで読んで得た内容を、もう一度展示を見て、理解を深めることが出来た。
- ・今回の見学はとても濃縮された学習ができたかと思います。講義や授業などで得た知識を標本や実物を見ることによってより深く頭に入ったと思います。とても参考になり、良かったです。

b 平成22年度スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会

実施日時：平成22年8月3日(火) 9：00～15：20

場 所：パシフィコ横浜 横浜市西区みなとみらい TEL 045-22-2155

参 加 者：SSコース1年生 28名 2年生 18名

- 内容 ①全体会に参加し、益川敏英先生の講演などを聴く
 ②第3分科会で高津高校の口頭発表を聴く
 ③ポスター発表会場にて他校の生徒とコミュニケーションする

生徒の感想

< パシフィコ横浜見学 >

- 1つの分野を深く学ぶだけでなくほかの分野にも積極的に興味を持つことが大切だとおっしゃっていて、益川先生の科学に対する価値観がわかってよかった。
- 発表がわかりやすく、質問に対しての返答もしっかりなるほどと思う受け答えで口頭発表自体もかなり参考になった。
- 僕たちと同じ高校生がやり方を自分で考え、実行する姿勢はすばらしく思った。いつか自分達もそういうことができるようになりたい。
- ポスターセッションは自分達と違った観点から見ていて面白かったり、全国規模であるところと違ったデータがとれていたりと興味深かったり、これからの研究の参考になりそうな内容もあってかなりよかった。
- 自分達はなかなかテーマも決まらず研究の進みもだいぶ遅いが、この研究発表会では自分たちに必要な研究への姿勢を見せてもらってかなり参考になりよかった。
- 発表の際に実物を用意している学校が多く、とても面白いと思った。
- 1つ目の実験で傾向があるということを確認してから、2つ目の難しい本格的な実験をするという姿勢は見習いたいと思いました。
- 前で話をしていた女の子がとてもハキハキしていて、とても聞きやすかったです。質問に答えていた子が、質問されてすぐに答えていたのがすごかったです。



会場の様子



ポスター発表のメンバー